

## フランチェスカ・デゴ

人気急上昇中の若手ヴァイオリニストとして国際的に活躍している。2012年に名門ドイツ・グラモフォンと契約し、デビュー・アルバム『パガニーニ：24のカプリース』は批評家から高い評価を得た。2015年には、『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ集』をリリースした。

これまでに、ミラノ・ラ・ヴェルディ管弦楽団、ニース・フィルハーモニー管弦楽団、ポルトガル交響楽団、ラ・スカラ室内管弦楽団、コロソ劇場管弦楽団、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団、アルメニア・フィルハーモニー管弦楽団、タタリスタン国立交響楽団、ウクライナ国立交響楽団、サンタ・バーバラ交響楽団、北チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、アルトゥーロ・トスカニーニ交響楽団、武漢交響楽団等のオーケストラと、日本では、東京交響楽団と共演している。

また、サジャンルイジ・ジェルメッティ、ポール・グッドウィン、ディエゴ・マテウス、ジュリアン・コヴァチェフ、ドメニコ・レンツェッティ、ヨエル・レヴィ、ダニエーレ・ルスティオーニ、シャン・ジャン等の指揮者と、ルヴァトーレ・アツカルド、ブルーノ・ジュランナ、ウェイン・マーシャル、アントニオ・メネセス、ドメニコ・ノルディオ、ヤン・リシエツキ等の演奏家と共演している。

近年のハイライトは、ロイヤル・フェスティバルホールでグラント・ルウェリン指揮フィルハーモニア管弦楽団とのデビュー公演や、サー・ロジャー・ノリントン指揮ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団をはじめ、バーミンガム市交響楽団、グラーツ大管弦楽団、オランダ交響楽団、マンハイム・フィルハーモニー管弦楽団、トリノ・レージョ劇場管弦楽団、九州交響楽団との共演がある。

2008年パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで入賞し、最年少でエンリコ・コスタ博士記念賞を受賞。イタリア人女性として初の受賞者として注目を集めた。これまでに、ウィグモア・ホール、コロソ劇場、モスクワ音楽院のホール、サン・カルルシユ国立劇場、上海オリエンタル・アートセンター、中国国家大劇院、パルコ・デッラ・ムジカ音楽堂等に登場している。

使用楽器は、1697年製のフランチェスコ・ルジェーリと、レオンハルト・フロリアン楽器商会より貸与された1734年製のガエルネリ・デル・ジェス「Ex.リッチ」。